

1 単元名 世界恐慌と日本の中国侵略

2 目標

- 世界恐慌の原因や影響，その対応及び世界恐慌後の社会情勢について関心をもち，昭和時代前期の歴史的事象に触れながら，時代の特色について追究しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 世界恐慌の原因や影響，その対応及び世界恐慌後の社会の様子を資本主義経済の仕組みから考察し，昭和初期の特色について，自分の言葉で表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 必要な資料を用いて，世界恐慌の原因や影響，その対応及び世界恐慌後の社会の様子を調べ，地図や図，文章などで表現することができる。
(資料活用の技能)
- 世界恐慌の原因や影響，その対応及び世界恐慌後の社会情勢，ファシズム，軍部の台頭までの大まかな流れと時代の特色を理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元の指導計画（6時間扱い）

時	学習活動及び内容	形態	援助・指導の留意点<◎評価>
1	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大正デモクラシーの時期を振り返り，単元の学習課題をつくらう。</div> <p>2 大正デモクラシーの時期の社会情勢について復習する。</p> <p>3 資料から世界恐慌後の社会情勢を予想し，学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界恐慌後は，どのような世の中だったのだろうか。</div> <p>4 単元の見通しをもつ。</p>	<p>一斉</p> <p>一斉</p> <p>グループ</p> <p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習は，統計資料を読み取り，単元の学習課題をつくることを説明する。 ・学習の課題意識を高めるため，統計資料「世界恐慌前後の各国の鉱工業生産指数」を提示し，世界恐慌前後の変化に注目させる。 ・世界恐慌後の社会情勢を予想させるため，第一次世界大戦後の日本の社会情勢や経済状況について教科書をもとに復習する。 ・統計資料から世界恐慌後に何が合ったかという疑問から，疑問を解決するための学習課題はどんな課題がよいか話し合わせる。 ・つくった課題をいくつか発表させ，単元の課題として適したものを教師が一つの課題に集約する。 ・学習の見通しをもたせるため，単元の課題をワークシートに書かせる。 <p>◎大正デモクラシーの時期の社会情勢を振り返り，これからの学習について関心をもち，時代の特色について追究しようとしている。 (関心・意欲・態度)《観察》</p> <p>◎時代の特色を考えている。 (思考・判断)《ワークシート》</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">世界恐慌に各国（ソ・英・仏・米）は，どのように対応したのだろうか。</div> <p>1 個人で調べ学習をする。</p> <p>2 「出来事・人物カード」をつくる。</p> <p>3 グループで話し合う。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>一斉</p> <p>個別</p> <p>グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の進め方について説明する。 ・本時の学習のねらいをつかませるため，学習課題をノートに書かせる。 ・歴史的事象の意味について理解させるため，調べて分かった内容をカードの裏に書かせる。 ・カードの表に書く文字は，はっきり見えるように，大きさや太さについて助言する。 ・歴史的事象の関連や意味を理解させるために，カードを使って，各事象の関連を話し合い，事象を線や矢印で結んだり，コメントを書いたりして，「課題解決シート」を作成させる。 ・作業が進まないグループには，「課題解決シート」の手引きを参考にさせる。 ・前時まで学習した内容をすぐ振り返ることができるために，作成したは，「課題解決シート」を教室に貼りだしておき，常に生徒の目に触れられるよう
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">世界恐慌に各国（伊・独・日）は，どのように対応したのだろうか。 ※第2時と同じ学習の流れ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">満州事変後，軍部はどのようなことをしたのだろうか。</div>		

4	※第2時と同じ学習の流れ		<p>にしておく。</p> <p>◎歴史的事象の関連や意味について理解している。 (知識・理解)《ワークシート》</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>日中戦争は人々の生活にどのような影響をあたえたのだろうか。</p> </div> <p>※第2時と同じ学習の流れ</p>		<p>◎調べた内容をカード、ワークシートにまとめることができる。(技能・表現)《カード、ワークシート》</p>
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>世界恐慌後の時代の特色を考え、時代のタイトルをつくらう。</p> </div> <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>2 「課題解決シート」をもとに、事象ごとのつながりを話し合う。 ・世界恐慌とブロック経済 ・欧米の情勢と日本 ・日本の中国侵略 ・日中全面戦争</p> <p>3 「出来事・人物カード」を取捨選択しながら、時代のタイトルを考え、時代のタイトルと理由をワークシートに書く。 時代のタイトルづくりの条件 「AがBであった時代」 「AによりBになった時代」</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<p>一斉</p> <p>グループ</p> <p>個別</p> <p>個別</p> <p>一斉</p>	<p>・タイトルづくりのヒントとなるように、鎌倉時代など、他の時代のタイトルを示し、何時代であるかを答えさせるクイズを2問出題する。</p> <p>・前時までに作成した4枚の「課題解決シート」を使い、歴史的事象のつながりを考えさせる。</p> <p>・各自に4枚のミニカードを渡し、どんな構成になるのかを考え、ノートに貼らせてから、グループでの話し合いをするように告げる。</p> <p>・時代の大まかな流れをつかませるために、4枚のシートを模造紙の上に並べ、事象の関連を線や矢印で結んだり、コメントを書き入れたりするように、説明する。</p> <p>・時代の特色をとらえやすくさせるために、「出来事・人物カード」は最初は自由に取捨選択させた後、枚数を2枚に制限する。</p> <p>・選んだ2枚のカードを時代順に並べて、時代のタイトルを考えるように助言する。</p> <p>・時代のタイトルは、複数考えてもよいことと、複数考えた場合は、その中から発表するものを一つ選択するように助言する。</p> <p>・時代のタイトルが思い浮かばない生徒には、「時代のタイトルづけお助けカード」(支援カード)を渡して、時代のタイトルを考えるように助言する。</p> <p>・カードの表に時代のタイトル、裏には時代のタイトルをつけた理由を自分の言葉で文章に書き表すことを説明する。</p> <p>◎調べた社会的事象の関連や意味にもとづいて、時代の特色をとらえている。 (知識・理解)《カード・ワークシート》</p> <p>◎自分の言葉で、時代のタイトルや理由を表している。 (技能・表現)《カード・ワークシート》</p> <p>・自己評価カードに、自己評価と分かったことを書くように告げる。</p> <p>・生徒の学習意欲を次の単元に繋げるため、次の時代は、どのような時代になるか予想させ、数人に発表をさせてから、次時の学習内容について告げる。</p>

本時の学習

(1) 目 標

「出来事・人物カード」を活用して時代の特色を考察し、世界恐慌後の時代に時代のタイトルをつけることができる。

(2) 展 開

時	学習活動及び内容	形態	援助・指導の留意点<◎評価>
5	1 本時の学習課題を確認する。 世界恐慌後の時代の特色を考え、時代のタイトルをつけよう。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のねらいをつかませるため、学習課題をワークシートに書かせる。 時代のタイトルづくりのヒントとなるように、鎌倉時代など、他の時代のタイトルを示し、何時代であるかを答えさせるクイズを2問出題し、数名に答えさせる。
15	2 「課題解決シート」をもとに、事象ごとのつながりを話し合う。 ・世界恐慌とブロック経済 ・欧米の情勢と日本 ・日本の中国侵略 ・日中全面戦争	グループ	<ul style="list-style-type: none"> 前時までにグループで作成した4枚の「課題解決シート」を使い、事象の関連などを話し合うように告げる。 各自に4枚のミニカード(丸数字が書かれたもの)を渡し、どんな構成になるのか考え、ノートに貼らせてから、グループでの話し合いをするように告げる。 時代の大まかな流れをつかませるために、4枚の課題解決シートをラシヤ紙の上に並べ、事象の関連を線や矢印で結んだり、補足説明のコメントを書き入れたりするように、助言する。 各事象の意味が分からなくなった場合は、「出来事・人物カード」で振り返るように助言する。
25	3 「出来事・人物カード」を取捨選択しながら、時代のタイトルを考え、時代のタイトルと理由を考えて書く。 時代のタイトルづくりの条件 「AがBであった時代」 「AによりBになった時代」	個別	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色をとらえやすくさせるために、「出来事・人物カード」は最初は自由に取捨選択させた後、枚数を2枚に制限する。 選んだ2枚のカードを時代順に並べて、時代のタイトルを考えるように助言する。 時代のタイトルは複数考えても良いことと、複数考えた場合はその中から、発表するものを一つ選択しておくことを助言する。 時代のタイトルが思いつかない生徒には、「時代のタイトルづくり、お助けカード」(支援カード)を渡して、時代のタイトルを考えるように助言する。 考えた時代のタイトルと理由は、まずワークシートに書くように説明する。 表に時代のタイトル、裏には時代のタイトルをつけた理由を文章で書くことを補足説明する。 ◎《知識・理解》 調べた歴史的事象の関連や意味にもとづいて、時代の特色をとらえている。(ワークシート) ◎《技能》 時代のタイトルや時代のタイトルの理由、学習のまとめを自の言葉で表現している。(ワークシート・自己評価カード) カードの表に書く文字の大きさや太さに注意しながら書くように助言する。
3	4 本時の学習を振り返る。	個別	<ul style="list-style-type: none"> 学習して分かったことを自分の言葉でまとめるように助言する。 自己評価カードに、自己評価と分かったことを書くように告げる。
2	5 次時の学習内容を知る。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を次の単元に繋げるため、次の時代はどのような時代になるか予想させ、数人に発表をさせてから、次時の学習内容について告げる。

社会科ワークシート① (/)

単元 「世界恐慌と日本の中国侵略」

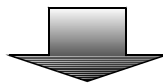
2年 組

1. 本時の学習課題

2. 統計資料を見て、気づいたこと

3. 大正デモクラシーの時期の様子

4. 統計資料から、世界恐慌後の時代を探る課題を話し合ってみよう。



単元の学習課題

社会科ワークシート② (/)

単元 「世界恐慌と日本の中国侵略」

2年 組

学習課題

1. 私が考えた昭和初期のタイトルは… (選んだものに○, カードに書く)

	タ イ ト ル	理 由
①	時代	から
②	時代	から
③	時代	から

2. 学習して分かったことを文章に表現しよう。

社会科自己評価カード

単元 「世界恐慌と日本の中国侵略」

2年 組

○単元の見通しをもとう。

	時	学 習 課 題	自己評価	分かったこと
はじめ	第1時	(/) 大正デモクラシーの時期を振り返り、単元の学習課題をつくろう。	A B C D	
	第2時	(/) 世界恐慌に各国（ソ・英・仏・米）はどのように対応したのだろうか。	A B C D	
調べ学習	第3時	(/) 世界恐慌に各国（伊・独・日）はどのように対応したのだろうか。	A B C D	
	第4時	(/) 満州事変後、軍部はどのようなことをしたのだろうか。	A B C D	
	第5時	(/) 日中戦争は人々の生活にどのような影響をあたえたのだろうか。	A B C D	
まとめ	第6時	(/) 世界恐慌後の時代の特色を考え、時代のタイトルをつくろう。	A B C D	

<約束①>

これからこの単元は、上のような流れで学習していきます。
ここで示した学習課題は、毎時間最初に確認しますので、その都度ノートやワークシートに書いていきましょう。

<約束②>

右側に示した「自己評価」を毎時間の最後に、○をつけ、分かったことを書こう。
A…大変よくできた B…よくできた C…できた D…もう少しだった